

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成29年度分）

団体名：八幡市

プロジェクト名	スマートウェルネスシティ推進プロジェクト ～「健康と幸せ」を感じる「健幸」のまち～	実施期間	平成28年度～ 平成29年度	テーマ	少子・高齢化	新規・継続の区分	新規
地域における現状、課題及び住民ニーズ	・高齢者の1人世帯が増加している。 ・急激な高齢化による介護及び後期高齢者関連経費が増加傾向にある。 ・社会環境やライフスタイルの変化による生活習慣病の増加や高齢化に伴い、市民の健康に対する関心が高まっている。 ・「健康」で「幸せ」を感じられるまちにするため、人々が集える場所や習慣を確保する。						
プロジェクトの目的及び概要	・健康フェスタや健康マイレージ事業により、市民と協働しながら、高齢者等が元気に暮らせるまちづくりに寄与する。 ・高齢者が主体となって健康づくりに励み、長寿を謳歌できるまちづくりを目指す。 ・「健康」で「幸せ」を感じられるまちにするため、人々が集える場所、コミュニティ施設設備を整備する。						
	総事業費（千円）	9,043	本年度事業費（千円）	8,828	交付金額（千円）	3,029	
プロジェクトを構成する事業の平成29年度事業実績（出来高数値等）							
事業分類	事業名	事業種別	事業概要		主な実績（出来高数値等）		
市町村 実施事業	スポーツ公園・都市公園等ベンチリ ニューアル事業	交付対象事業	健康的生活を支える公園の利用促進のため老朽化したベンチ の更新を実施		更新数 68基		
	健康ウォーキング事業	交付対象事業	ウォーキングによる健康づくり習慣の定着に向け、季節に応 じた見所をまとめた観光散策マップを作成		観光散策マップを作成		
住民 協働 事業	健康フェスタ事業	交付対象事業	親子健康運動教室、ボール運動教室、トランポリン体験 等		参加人数 700人		
	やわたヘルスプロモーション推進事業費	関連事業	健康無関心層に健康づくりについてアプローチをする「健幸 アンバサダー」を養成		養成人数 268人		
住民が 取り組む 事業							
成果 指標 ①	成果指標の目標数値	健幸アンバサダー養成 150人		成果指標の実績値 (30年4月1日時点)	268人		
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	目標数値より増となり、健康づくりの推進に寄与した。			
	成果指標の実績値が更新できない場合 は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)		

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成２９年度分）

団体名：八幡市

成果指標 ②	成果指標の目標数値	公園ベンチ更新 65基		成果指標の実績値 (30年4月1日時点)	68基	
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	目標数値を上回って公園ベンチを更新することができた。		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期	(理由)		(時期)		
本年度の事業実績が 成果指標の達成に与えた効果 ※未達成の場合も効果を記載すること	「健幸都市」をキーワードに市民の健康寿命の延伸を目指し、生涯住み続けたいと思えるようなまちづくりに寄与した。「やわたスマートウェルネスシティ推進プロジェクト」で人々がいつまでも「健康」で「幸せ」を感じ、いきいきと輝きつづけるまちづくりを進めることができた。 ※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方策についても記載すること。					
本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	健幸アンバサダーを養成することで、健康無関心層の健康に対する意識や関心を高めることに寄与する。				
	府と市町村等との連携に資する成果					
	住民の自治意識を高める成果	観光散策マップの作成により、八幡の魅力ある見所を紹介するとともにウォーキングによる健康づくり習慣の定着につながった。				
	リーディング・モデル成果					
	広域的波及成果					
	行財政改革に資する成果					
	その他の成果	公園のリニューアルにより、高齢者が自宅や地域で暮らし続けられる環境を整備や健康づくりの動機付けができた。				

(記載要領)

- プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは―を記載すること。